

がんサポートコミュニティー（CSC）2018年度ファシリテーター研修（エーザイ株式会社 共催）

《研修生募集要項》

研修目的	がん患者さんを対象とした非構成型サポートグループの運営とファシリテーション実践に役立つ理論と技法の体験的習得を図る。
応募要件	① 臨床心理士、看護師、精神保健福祉士、社会福祉士、などの対人援助職資格をすでに所有しており、その資格を用いて実際のがん患者さんの心理社会的支援に従事している、あるいはこれから従事することが決まっている専門職者 ② 応募時点で、下記の研修内容にすべて参加できる見込みがある者
募集人数	3～4名
研修期間	2018年12月～2019年3月 ※ 2018年11月に事前オリエンテーションを実施します。 10日・17日（両日とも土曜午後を予定）のいずれかに参加が必要です。 どうしても参加できない場合は事務局宛にご相談ください。
研修内容 ※委細別紙	1) サポートグループ実習 研修期間中にごんサポートコミュニティー（東京都港区虎ノ門）に於いて開催される、特定のサポートグループ（隔週で月2回、曜日固定）に原則として連続6回（見学1回、サブファシリテーター体験3回、ファシリテーター体験2回）の参加 2) 講義（心理編） 3) 講義（医療編） 2019年1月12日（土）・13日（日）にエーザイ東京コミュニケーションオフィス（東京都新宿区西新宿）に於いて開催される研修への参加 4) グループワーク演習（困難場面への対応検討会） 2019年2月16日（土）にごんサポートコミュニティー（東京都港区虎ノ門）に於いて開催される、サポートグループ内で発生しやすい困難場面例への対応検討会への参加 5) グループスーパービジョン 2019年3月16日（土）にごんサポートコミュニティー（東京都港区虎ノ門）に於いて開催される、現任ファシリテーターとのグループスーパービジョン（自身がファシリテーターを担った事例についての検討）への参加
研修費用	30,000円（税込）
応募方法	以下の提出書類をホームページよりダウンロードして作成し、 <u>2018年10月22日（月）必着</u> にて下記までご郵送ください。 提出書類1 履歴書（指定用紙） 提出書類2 推薦書（指定用紙。提出可能な方のみ） 《書類提出先》 〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-10-4 虎ノ門ガーデン214号室 認定特定非営利活動法人がんサポートコミュニティー ファシリテーター研修担当者 宛

## 研修内容委細

### 1) サポートグループ体験

複数ある隔週月2回（曜日・時間ともに固定）の頻度で開催されているサポートグループのなかから体験するサポートグループ1つを事前に決め、原則として連続6回（見学1回、サブファシリテーター体験3回、ファシリテーター体験2回）分のグループを体験します。体験後には毎回、レポートの提出が必要です。体験するグループはグループの経過状況などを踏まえて決定するため、研修生の希望には沿えないことがあります。

指導：体験するサポートグループの担当ファシリテーター

内山 由美（CSCプログラムコーディネーター、看護師）

西野 明樹（CSCプログラムコーディネーター、臨床心理士・心理学博士）

### サポートグループの見学（1回目）

担当ファシリテーターらによる実際のサポートグループ運営（ファシリテーション）を見学しながら、参加メンバーの語りやメンバー同士の相互作用を学びます。毎回の体験後には担当ファシリテーターらと体験を共有します。

### サブファシリテーター体験（2回目・3回目・5回目）

ファシリテーターの協働ファシリテーターであり補佐役でもあるサブファシリテーターとして、実際のサポートグループに参加します。毎回の体験後には担当ファシリテーターらと体験を共有するとともに、ファシリテーションがよく機能していた場面や今後に向けた改善点などについて振り返りを行います。

### ファシリテーター体験（4回目・6回目）

サブファシリテーターと協働しながら、ファシリテーターとして、実際のサポートグループに参加します。毎回の体験後には担当ファシリテーターらと体験を共有するとともに、ファシリテーションがよく機能していた場面や今後に向けた改善点などについて振り返りを行います。

※後日のグループスーパービジョンでは、4回目あるいは6回目でファシリテーターを担ったセッション事例を素材として提出していただくことになります。

### 2) 講義（心理編）

日時：2019年1月12日（土）10時00分～17時30分

場所：エーザイ東京コミュニケーションオフィス

（東京都新宿区西新宿3-7-1 新宿パークタワー23階会議室）

JR「新宿駅」南口、徒歩12分

都営大江戸線「都庁前駅」A4出口、徒歩8分

内容：

(1) CSC ファシリテーターによる講義

講義1 「がんサポートコミュニティのコンセプト」

講義2 「がん患者さんにとってのサポートグループとその効果」

講義3 「サポートグループ実践のガイドラインとファシリテーション」

講義4 「サポートグループ内でよく生じる困難と危機への対応方法」

(2) 外部講師による講演

講演『がん罹患後の心理的成長と CRLM の紹介』（仮）15時50分～17時20分

講師 清水 研 先生（国立がん研究センター中央病院／精神腫瘍科長）

※講演については、内容が若干変更される可能性があります。

3) 講義（医療編）

日時：2019年1月13日（日）14時00分～19時00分

場所：エーザイ東京コミュニケーションオフィス

（東京都新宿区西新宿3-7-1 新宿パークタワー23階会議室）

JR「新宿駅」南口、徒歩12分

都営大江戸線「都庁前駅」A4出口、徒歩8分

内容：

講義1 「がん医療の基礎知識」14時00分～14時50分

渥美 隆之（CSC 理事長/平山病院副院長）

講義2 「緩和ケアの基礎知識」15時00分～15時50分

廣橋 猛 先生（永寿総合病院がん治療支援・緩和ケアセンター長）

講義3 「サイコオンコロジーの基礎知識」16時00分～16時50分

小川 朝生 先生（国立がん研究センター東病院精神腫瘍科科長）

講演『コンパニオン診断と分子標的薬』（仮）17時00分～18時30分

講師 渡邊 清高 先生（帝京大学医学部准教授）

※講演については、内容が若干変更される可能性があります。

4) グループワーク演習

日時：2019年2月16日（土）13時00分～17時00分

場所：がんサポートコミュニティ

内容：

サポートグループ内で発生しやすい困難場面の架空事例を題材に、研修生同士で具体的な対応方法を話し合ひ、現任ファシリテーターらの前で発表します。その後、現任ファシリテーターを交えたディスカッションを通して、よりよい対応方法について議論を深めます。終了後にはレポートの提出が必要です。

## 5) グループスーパービジョン

日時：2019年3月16日（土） 13時00分～17時00分

場所：がんサポートコミュニティー

内容：

それぞれの研修生がファシリテーターを担ったセッション事例（サポートグループ体験の4回目あるいは6回目）を検討素材として提出し、現任ファシリテーターからグループスーパービジョンを受けます。終了後にはレポートの提出が必要です。

## 6) まとめ

研修の総まとめとして、『研修によって得た学びを自身の実践に活かす』をテーマに最終レポートを提出していただきます。

1～6までのすべての研修過程を終えた研修生には、修了証を発行してお渡しします。